

4. トラブル報告

前回の大阪事業監視部会にて報告した後、平成 27 年 1 月末までに発生したトラブルは 4 件でした。なお、今回の 4 件については運転会社ではなく、JV の作業に伴うものでした。

(1) 定期検査時におけるアルカリ洗浄作業で被液

1) トラブルの状況

平成 26 年 8 月 16 日（土曜日）13 時 30 分ごろ、西棟蒸留室 4 階に設置されている第 1 蒸留塔コンデンサ(E-2903)内部をアルカリ洗浄（5%NaOH 水溶液）する作業で被液したものです。

2) 処置

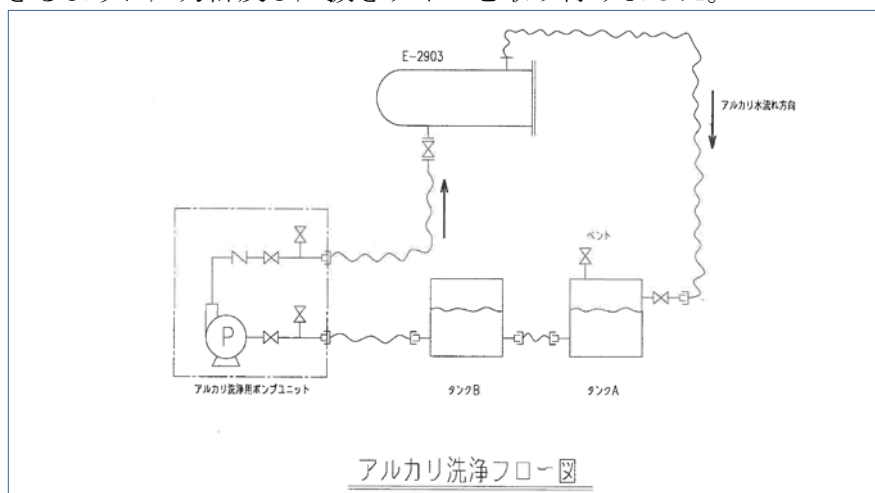
作業していた 2 名とも顔面及び太腿に被液したので直ぐに水道で洗い流しましたが、刺激感が残ったので病院へ行き治療（塗り薬を塗布）をしてもらいました。作業者は両名ともゴーグル、直結式半面防毒マスクを着用していましたが顔面に露出部分がありました。

3) 原因

洗浄タンクから蒸留塔コンデンサへ送液するホースを逆に接続しました。液を送り込んだ時に間違いに気が付きました。ホースの接続をやり直すためホース内部を 5 秒程度エアブローした後でジョイント部分を取り外したところ、ホース内に残っていた洗浄液がホース先端部から噴出して被液しました。

4) 対策

ホースが長く端部に識別のマークなどが無かったので正しく接続したものと作業者が思い込んでしまったものです。ホースの端部にカラーテープを巻くとともに、ホース内部の圧抜きが確実に実施できるように圧力計及び圧抜きラインを取り付けました。



ジョイント取り外し作業



5%NaOH 水溶液タンク



(2)定検作業において熱中症が発生し、転倒して左顔面骨を骨折

1)トラブルの状況

平成 26 年 8 月 23 日（土曜日）17 時 5 分ごろ、東棟南側通用口付近の屋外で転倒し左顔面骨を骨折したものです。被災者は定検作業で 22 日から入所し入構教育を受講後、東棟 3 階中間処理室で配管内部に付着したタール等の除去作業を 2 名で行っていました。16 時 45 分ごろ熱中症により頭痛がしたので相方に休憩を申し出て自販機でスポーツドリンクを購入し飲みました。その後、屋外で 5 分ほど腰を下ろして休憩を取った後、立ち上がった時に立ちくらみを起こして転倒し左顔面骨を骨折しました。

2)処置

被災者が倒れているのを運転会社の作業員が発見し、直ちに業者の仮設ハウスへ運び安静にさせました。その後、救急車で病院へ行き処置を受けました。

3)原因

当日の作業場は 9:30 で室温 32 度、14:00 は 34 度、湿度は 50%でした。被災者は熱中症対策として水分補給は多めにとっていました（①8:10 に 500cc 以上、②10:00 に 500cc 以上、③11:50 に 500cc 以上、④14:20 に 500cc 以上、⑤15:40 に 500cc 以上の水を飲んだ）。被災者は毎年定検作業で入構しており場内の暑さは十分に認識していましたが、今回は入構 2 日目で身体が暑さに馴化していなかったものと考えられます。

4)対策

熱中症予防確認表を活用して休憩時に個人の体調を確認するように徹底しました。また、体調不良を自覚した場合、直ぐに現場監督へ申し出るように朝礼等で指導を行っています。

定検作業



立ちくらみを起こして転倒（再現）

